

(法第 28 条第 1 項関係「前事業年度の事業報告書」)

平成22年度の事業報告書(案)

平成22年4月1日から 23年3月31日まで

特定非営利活動法人農商工連携サポートセンター

1 事業の成果

特定非営利活動法人農商工連携サポートセンターは平成21年7月29日、農商工連携による地方の雇用創出を目的に設立された。

会員数は33名+11法人(21年度末)から個人68名+13法人(22年度末)と着実に増加した。

農商工連携に関する講演会活動を全国40カ所で実施し、農商工連携の有用性を普及した。平成22年6月25日、農林漁業6次産業化法の成立に先立ち「6次産業化セミナー」を日本で最も早く開催。以降、農商工連携とともに農林漁業6次産業化についても各地で普及に努めた。

昨年開始された3つの主要事業、農商工連携研究会(本年度は4回開催)、農商工連携プランニング講習会(日本財団の補助金を得て全国5カ所で開催)、農業体験ツアー(2回実施、1回は荒天のため中止)の3つの事業を引き続き実施した。プランニング講習会の修了生は延べ45人。5カ所で28のビジネスモデルを構築し、成果発表した。そのうち事業実施に至ったものは15件。農林水産省の6次産業化法の総合化事業計画認定申請に至ったものは1件(松山)。次期(平成23年秋)認定に向けて申請準備中のものが2件(東京、松山)。

新たに「ちよだ青空市」を開始(毎月開催)するとともに様々な地方の生産者と消費者の交流イベントをちよだプラットフォームスクウェア1階の「デリカフェ」で10月以降ほぼ毎月開催した。「ちよだ青空市」の outlet から農林水産省の「6次産業化法」の総合化事業計画認定申請に至ったものは1件(岩手)次期認定に向けて準備中のものが1件(埼玉)。

総じてNPO法人の2年目として順調に運営基盤を固めつつある。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の 実施日時 (B)当該事業の 実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象 者の範囲 (E)人数	事業費 上段:収入 下段:支出 (単位:千円)
農商工連携に関する人材育成事業	農商工連携研究会の開催 会員(個人、法人)及び農商工連携に関心を持つ企業を対象に農商工連携に関する研究会を開催。6/1 は現地視察ツアー。6/25 は6次産業化セミナー	(A)4/16,6/1, 6/25,7/9, 9/17,1/21 (B)ちよだプラットフォームスクウェア会議室他 (C)3~4人	(D)会員、企業 (E)20~30人	1,440 1,220
	農商工連携に関する講師派遣 各地で開催される農商工連携の講演会に講師派遣。	(A)年度内40回 (B)全国40カ所 (C)1	(D)商工会等 (E)平均50人程度	4,967 1,252
	農商工連携プランニング講習会 主に個人を対象に自ら農商工連携のビジネスモデルを作成する講習会を5カ所で開催。日本財団の補助事業。1カ所それぞれ連続4回の講習会を開催。	(A)(B) 仙台 8/18-9/16 東京 11/10-11/30 高松 12/8-1/7 青森 1/12-2/2 松山 2/2-3/9 (C)2人	(D)公募 (E)延べ45人	856 1,241 助成金 1,240

農商工連携に関する支援事業	農商工連携事業創出支援・個別相談	(A)随時 (B)東京、福井他 (C)1人	(D)個人、企業 (E)2件	159 60
	農業体験ツアーの実施 個人会員を対象に農業体験・開墾ツアーを実施。5/23 は荒天のため中止	(A)4/24-25,5/23 10/2-3 (B)山梨県北杜市 (C)2人	(D)公募 (E)延べ70人	1,441 1,484
	ちよだ青空市の開催 地方の生産者と都会の消費者を直結する青空市を開催。出店者は13~17、参加者は500人~1200人。7/28 はイベント。	(A)7/28,10/1,11/2 12/1,2/1,3/2 (B)ちよだプラットフォーム (C)10人	(D)一般来場 (E) 500人~ 1200人	884 736
	生産者との交流イベント 国産ワインのタベ(8/2) 日本酒のタベ(10/5) 信州青空市(11/19) 釜石の鮭を喰らう会(12/3) 開墾子牛ツアー(12/18-19) 青森の元気を喰らう会(2/2) 日本酒蔵元体験ツアー(2/5-6) 釜石の牡蠣を喰らう会(3/18)	(A)左記(B)(C)下記 デリカフェ 3人 デリカフェ 3人 ちよだ PS 7人 デリカフェ 3人 勝沼 2人 デリカフェ 5人 さくら市 2人 震災のため中止	(D)公募 (E)下記 20人 30人 400人来場 30人 7人 105人 10人 (申し込み70人)	1,216 820
農商工連携に関する支援事業(続き)	施設管理・運営	該当なし		0
農商工連携に関する情報収集・提供事業	該当なし			0
農商工連携に関する調査・研究事業	該当なし			0
その他目的を達成するために必要な事業	該当なし			0

(2) その他の事業
該当なし。